



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 通信  
 2009年7月31日号 No.108

# 'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

「区民平和のつどい」で山田洋次監督作品の「母べえ」上映会

「いったい誰だ 僕たちにこのような苦しみを与えているのは」  
 過ぎ去った時代から、新しい政治の方向が見えてきます

（一度観たからいいかな？）と思っていたものの気になり、シビック小ホールに足を運んでしまいました。29日午後、山田洋次監督作品の「母べえ」が区の「区民平和のつどい」として上映され、鑑賞しました。

日中の上映とあつて高齢者が目立ちましたが満員でした。戦時中に治安維持法違反で父親が高拘に捕まった家族が、母親を中心に生き抜くストーリーは、歴史を考えさせられるだけでなく現代にも大きなメッセージを発しています。大滝秀治扮する老医者、国の流れに沿わない人間をもの言わせないよつにするなんて嫌な時代だみたいなセリフを



すでにビデオ、DVDにもなっています。



語っていましたが、随所に山田監督の問いかけるものが見えていました。

圧巻は、最後の「父べえ」の語りです。

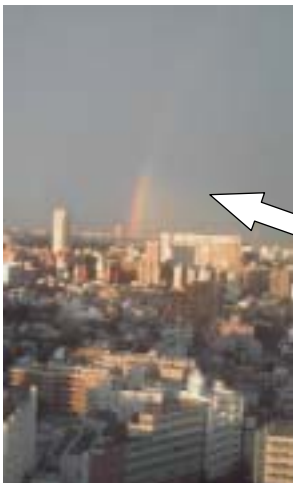
朝、5時半、君は決まって目を覚ます。君はガスコンロに火を付ける。君は薄給の小学校の代用教員。みんな不平を言いつつ生きていく。君は12貫足らずの痛々しい身体で働いている。いったい誰だ僕たちにこのような苦しみを与えているのは。誰が僕が人間であることを思い出させてくれるんだ。



## つかの間の夏の自然現象 「虹の向こう側」

アレっ？何だろう？ 27日夕方、区役所内での会議傍聴のため廊下を歩いていた目の前に、大きな虹が現れました。午後に降った雨の後、薄日が差しているとは思っていたものの、こんなに大きな虹が見れるとは思いませんでした。

九州、中国地方を中心に豪雨被害で自然の力の恐ろしさを実感する毎日ですが、こんな自然はありがたいです。



見づらいますが、虹です。区役所の東の空。

## まんぢん日記

24日 例年、夏におこなっている各団体懇談会が総選挙の関係で従来の規模ではできないのですが、可能なところから聞き取りを始めます。今日から来月初旬にかけて予定を組みます。

夜、議会の暑気払いが区役所食堂でありました。

25日 「ステージエコイン区民ひろば」シビックB2階で開かれました。今回に限り夏休み中なので親子での参加が可能でした。雨の対策がありますが、野外でできるとよりいいですね。

夜、朝顔ほおずき市の反省会に出席。あまりお手伝いできなくて申し訳なかったのですが…。

27日 夜、基本構想策定協議会の「行財政運営分科会」を傍聴。